

「保健医療科学」 第58巻 第4号 予告

特集：地域保健活動における評価の現状と課題（仮題）

保健活動における評価の現状と課題（仮題）……………	尾島俊之
栄養に関する保健活動の評価の現状と課題（仮題）……………	須藤紀子
高齢者歯科保健活動の評価の現状と課題（仮題）……………	三浦宏子
公衆衛生看護活動の評価の現状と課題（仮題）……………	中板育美
福祉職の活動の評価の現状と課題（仮題）……………	森川美絵
公衆衛生における助産師活動の評価の現状と課題（仮題）……………	福島富士子
保健師の現任教育に関する評価の現状と課題（仮題）……………	成木弘子，奥田博子，米澤純子

編 集 後 記

ヘルスケアシステムは機械型システムと適応型システムの2つのシステムで構築されている。機械型システムでは、ある刺激に対してシステムの構成要素がどう反応するかがよくわかっていて、未来（結果）を正確に予測することができる。適応型システムでは、ある刺激に対してシステムの構成要素が極めて多様な、基本的に予測不能な反応を起こせる自由度があり、未来（結果）をパターンでしか予測できない。

機械型システムでの問題解決には、標準化・規格化・規制化などの考え方が有用である。適応型システムでの問題解決には、比較的単純な原則で複雑なシステムの振る舞いを一定の方向に向けさせるという考え方が有用である。つまり「よい」アイデアを普及させ「よいとはいえない」アイデアを排除し、次々に「よい」アイデアを実行し続ける「学習する組織」作りが重要なポイントになる。

本号では、国立保健医療科学院の新型インフルエンザ流行対策を特集として取り上げた。新型インフルエンザを取り巻く環境は短期間に変化し、解決しなければならない問題が次々に現れてくる。諸問題に取り組むとき、目的に照らし合わせて優先順位を決め、2つのシステムの解決手法をうまく組み合わせることが重要なポイントになる。また、そのためには常日頃から人材育成に力を注がなければならない。新型インフルエンザ流行に対する国立保健医療科学院の様々な取り組みの中に、それらのことを読み取ることができる。

（熊川寿郎）

「保健医療科学」投稿規程

1. 投稿論文

公衆衛生および社会福祉の向上，普及に資する研究，および活動報告とし，「保健医療科学」編集委員会が掲載内容を決定する。ただし，他誌に発表（予定も含む）された論文は掲載しないものとし，多重投稿を禁ずる。また，原稿は随時受け付ける。

2. 原稿の種類，内容及び制限頁数

査読つきのもの

総説 (Reviews)

関連領域の調査，研究，活動，政策動向，進歩，課題，展望などについて参考文献を付して総括的に解説するもの [12頁以内]

原著 (Original Articles)

独創的な研究にもとづく新知見を含む論文 [10頁以内]

ノート (Notes)

速報など，原著に比べて簡潔で若干の新知見を含むもの [5頁以内]

資料 (Research Data)

調査または統計などをまとめたもの [8頁以内]

報告 (Reports)

国内外の公衆衛生および社会福祉に関する実践，教育，研究などの報告 [5頁以内]

論壇 (Commentaries)

公衆衛生および社会福祉の活動，政策，動向などについての提案，提言 [5頁以内]

査読のつかないもの

レター (Letters)

掲載論文に対する意見や国内外の公衆衛生および社会福祉に関する実践の報告で時宜を得たものなど [2頁以内]

書評 (Book Reviews)

公衆衛生および社会福祉に関する図書などの紹介 [1頁以内]

* 刷り上り1頁は2,600字，英語の場合は850wordsを基本とし，2段組のレイアウトとする。

なお，編集委員会の判断で，制限頁数を超えた原稿の掲載を認めることがある。

3. 特集について

編集委員会は，各号ごとにテーマを設け，特集を組む。特集の原稿は，専門家への依頼，または，一定の告知期間を設けた投稿募集によるものとする。

4. 発行頻度

年4回発行し，必要に応じて補冊 (Supplement) を発行する。

5. 投稿方法

原稿は電子メールに添付して送信するか，原稿を保存した電子メディアを郵送する。

- ・ 投稿申込書 (<http://www.niph.go.jp/toshokan/hokeniriyokagakutokomoshikomi041018.htm>)
- ・ 本文 (原則としてWord形式で作成すること)
- ・ 図表 (必要に応じて)
- ・ 英文抄録

なお，執筆要領については別に定める。

(<http://www.niph.go.jp/toshokan/shippitsuyoryo041021.pdf>)

6. 原稿の審査

投稿論文の採否は，複数の専門家による査読の結果に基づき，編集委員会にて決定する。(図「投稿論文査読の流れ」参照)

「特集」については、特集担当委員、または、その指名する査読者が査読を行う。

7. 論文掲載料・別刷り

論文掲載は無料であるが、掲載論文の投稿者のうち希望者は有料で別刷りを作成することができる（50部単位）。

8. 校正

著者校正は初校までとし、脱落、誤植などの校正とする。原文および図表等の大幅な訂正などは認めない。

9. 著作権およびホームページへの掲載

本誌の著作権は本院に属する。なお、他誌などにその全部または一部を使用する場合は本編集委員会の同意を必要とする。本誌に掲載された論文は、全文を電子化し、国立保健医療科学院のホームページに掲載する。

10. 投稿先

「保健医療科学」編集委員会事務局

e-mail: jniph@niph.go.jp

〒351-0197 埼玉県和光市南 2-3-6

TEL. 048-458-6213 FAX. 048-469-0326

（平成21年 6 月18日改訂）